

町政を問う!

一般質問



若潮寮(兵庫県立香住高等学校HPより)



図書館は重要な社会インフラです

若潮寮と地域課題の兼ね合いは

そこまで深掘できていません



よしかわ やすはる
吉川 康治 議員

香住高校の若潮寮について、現在、生徒は大体100人弱。関係者はざっくり1人当たり2人。

毎年100人ずつ入れ替わり関係人口が増えている。大学卒業後、香美町に帰ってくる女性は、全体の8%前後でこれは地域課題である。1人でも多く入学してもらうことで、極端な話、分母が200人になれば16人が戻ってくる計算となる。

香住高校の女子生徒さんの入寮問題、本町における女性の減少という課題、持続不可能都市からの脱却、そういった兼ね合いをどのように考えられているか伺う。

町長

今の女子生徒が、女子寮の部屋が足らずに下宿を余儀なくされていることについて、関係



人口とか、そこまで深掘りをしたような考え方はできていません。

図書館の重要性と可能性を問う

読書推進のソフト面充実を図ります



まつおか だいご
松岡 大悟 議員

香美町は読書運動を推進しているが、図書館がありません。近年、地域活性化における図書館の在り方が重要視され、読書だけではない社会インフラとしての図書館活用が推進されています。

町長

香美町には、3つの図書室と8つの図書コーナーがあり、約6万4600冊の蔵書を確保するとともに移動図書館車の運行も行っており、町民に本を読んでもらう状況が一定量整っています。図書

館・図書室の役割は本の情報・文化・教養・サービスを提供するものであり、これにより町民生活を豊かにするものと捉えています。図書館整備は、図書利用者数の増加に一時的効果はあると考えるが、広い町域・公共交通事情・高齢化に伴う移動の困難性等を考慮すると、現時点で建設ではなく、読書を推進するソフト面の充実を図ることを優先すべきと考えています。

